

5 単元の指導計画及び評価計画（全6時間）

過程	時間	主な学習活動	評価
導入	1	「南アメリカ州はどんなところだろう？」 ・ 現段階における南アメリカ州についての知っていること・イメージを書かせる。	
地域の特色		「南アメリカ州の自然環境」 「多様な民族と人々の生活」 ・ 教科書や地図帳、DVD等の資料を用いて、自然・歴史・文化などの視点から南アメリカ州について概観する。 ・ 本時で学習したことをもとにして、「南アメリカ州はどんなところだろう？」を書かせる。	・ 地図や写真、グラフ、DVDの映像等から南アメリカ州の自然・歴史・文化等の特色を読みとりまとめている。【技能】 ・ 南アメリカ州への関心を高め、自然・歴史・文化等の特色をとらえようとしている。 【関心・意欲・態度】
を習得する	1	「大規模化する農業と発展する工業」 ・ 南アメリカ州の産業の変化を、栽培する作物や輸出品に着目して調べ、まとめさせる。その際、ブラジルに着目し、特定の産品に依存する経済からの脱却を図り経済発展を目指そうとしていることに気づかせる。 ・ 本時で学習したことをもとにして、「南アメリカ州はどんなところだろう？」を書かせる。	・ 南アメリカ州の産業の変化について、適切に読み取りまとめている。【技能】 ・ 南アメリカ州への関心を高め、産業の特色をとらえようとしている。【関心・意欲・態度】
主題を追究する	1	「ブラジルに見る環境問題」 ・ 経済発展を目指すブラジルを事例にして、アマゾンの熱帯林が開発され、熱帯林の減少が続いていることに気づかせる。その際、日本が熱帯林の開発に関わっていることに注目させ、経済発展を目指しながら開発と環境保全のバランスをどうとっていけば良いか考察させる。	・ ブラジルを事例に、開発が環境に与えた影響について、日本との関わりという視点も含めて理解している。【知識・理解】 ・ ブラジルに見られる環境問題について、開発や環境保全の視点からどのように向き合っていけば良いのか、表現している。【思考・判断・表現】
	1 本時	「産業の発展と開発にともなう問題」 ・ 学習活動については、本時の授業展開を参照	・ ブラジルを事例にして、経済発展をしている国の中にスラム（ファベラ）が存続する有り様について、その理由を表現している。【思考・判断・表現】
まとめ	2	「南アメリカ州のまとめ」 ・ ブラジルを事例に学習してきた経済発展にともなう環境問題や都市問題は、他の南アメリカ州の国々でも見られる特徴であるかどうかを資料をもとにして吟味する。 ・ これまで学習したことをもとにして、「南アメリカ州はどんなところだろう？」を書かせる。	・ 南アメリカ州の地域的特色について、根拠となる資料を活用し、適切に読み取りまとめている。【技能】 ・ 南アメリカ州の地域的特色について、表現している。 【思考・判断・表現】